

プロジェクションマッピング事業の経済波及効果推計に関する業務
 プロジェクションマッピング国際アワードTOKYO
 経済波及効果について（令和6年度予算分）

1. 経済波及効果推計結果総括

プロジェクションマッピング国際アワードTOKYOの経済波及効果について、開催経費及びプロ
 ジェクションマッピングの来訪者の消費による経済波及効果の推計を行った。推計にあたっては、「東
 京都産業連関表経済波及効果推計ツール（東京都総務局統計部）」を用いて行った。

（経済波及効果推計結果）

（百万円）

	計	開催経費	来訪者消費
都内新規需要	502	483	19
直接効果	358	344	14
第1次間接効果	178	173	6
第2次間接効果	61	59	2
生産誘発額（総合効果）	598	576	22
粗付加価値誘発効果（総合効果）	307	296	11

（人）

	計	開催経費	来訪者消費
就業誘発効果	33	31	2

2. 開催経費による経済波及効果の推計

プロジェクションマッピング国際アワードTOKYOの開催経費（コンテンツ制作費、機器設営費、運営費及び会場使用料等）を東京都産業連関表の産業部門の新規需要（購入者価格）として計上することにより、プロジェクションマッピング開催経費による経済波及効果の推計を行った。

産業部門別の新規需要（購入者価格）及び経済波及効果推計結果は以下のとおり。

（産業部門別 新規需要）

部門	金額（百万円）
11 飲食料品	6.2
15 繊維製品	1.7
33 電気機械	95.0
39 その他製造工業製品	22.0
59 情報・通信	9.4
65 他に分類されない会員制団体	156.0
66 対事業所サービス	185.0
67 対個人サービス	7.6
計	482.8

（開催経費による経済波及効果推計結果）

	金額（百万円）
都内新規需要	483
直接効果	344
第1次間接効果	173
第2次間接効果	59
生産誘発額（総合効果）	576
粗付加価値誘発効果（総合効果）	296

	人数（人）
就業誘発効果	31

3. 来訪者の消費による経済波及効果の推計

(1) 来訪者数の推計

報告されているプロジェクションマッピング国際アワードTOKYOへの入場者数を来訪者の消費による経済波及効果の推計に用いた。

(プロジェクションマッピング国際アワードTOKYO入場者数) (人)

実施日	来場者数
2024年9月14日(土)～9月16日(月・祝)	20,302
2024年11月7日(木)～11月10日(日)	5,051

※9月実施分については、9月12日(木)実施のイベントへの参加者も含む

(2) 来訪者の消費額単価の推計

来訪者の消費額単価については、東京都観光客数等実態調査において新宿区で実施したパラメータ調査データを用いて算出した。

算出にあたっては、消費額単価を平均滞在時間で除することにより、滞在時間1時間当たりの消費額単価を求め、プロジェクションマッピング実施により想定される滞在時間を乗じて、消費額単価を求めている。9月実施分については、有料席であり第1部、第2部、国際大会・授賞式と分かれており、各50分のプログラム時間となっていることから、滞在時間を50分として算出した。11月実施分については、投影時間17:30～20:40(190分)の間に3回投影されることから、滞在時間を63.3分として算出した。

ただし、有料席チケットの売上、会期を通しての飲食物の売上が報告されていることから、飲食費及び入場費を除く、交通費、土産代、その他の消費額単価の算出を行った。

(来訪者消費額単価の推計結果) (円)

実施日	交通費	土産代	その他
2024年9月14日(土)～9月16日(月・祝)	200	129	32
2024年11月7日(木)～11月10日(日)	202	48	109

※利用データの調査年：(9月)2023年第3四半期、(11月)2023年第4四半期

※物価の上昇や、円安傾向を鑑みると、国内外問わず消費額単価は今後上がっていくことが予測されることから、上記の調査年の滞在時間1時間当たりの消費額単価に直近の東京都観光客数実態調査(2024年第2四半期)の都外在住の日帰り来訪者の消費額単価の伸び率(1.25)を乗じている。

(プロジェクションマッピング国際アワードTOKYO売上)

	金額(円)
有料席チケット売上	21,184,700
飲食物売上	10,289,070

(3) 経済波及効果の推計

来訪者については、国内からの来訪者・日帰り客とし、消費額単価については、交通費は「運輸・郵

便」部門、土産代は「商業」部門、その他は「対個人サービス」部門に計上、飲食物売上は「対個人サービス」部門に計上することにより、来訪者の消費による経済波及効果の推計を行った。

また、有料席チケット売上については、実施主体である TOKYO LIGHTS 実行委員会の収入としており、TOKYO LIGHTS 実行委員会より開催経費が支払われていることから、開催経費による経済波及効果に含まれるものとして、来訪者の消費による経済波及効果推計においては計上していない。なお、有料席チケットの販売手数料は開催経費として計上し、開催経費による経済波及効果として推計している。

(来訪者の消費による経済波及効果推計結果)

	金額 (百万円)
都内新規需要	19
直接効果	14
第1次間接効果	6
第2次間接効果	2
生産誘発額 (総合効果)	22
粗付加価値誘発効果 (総合効果)	11

	人数 (人)
就業誘発効果	2

4. 費用対効果

プロジェクションマッピング国際アワードTOKYOの費用対効果をまとめると以下のとおりとなる。

(費用対効果)

項目		計
費用(百万円)	開催経費	483

項目		計	開催経費による 経済波及効果	来訪者消費による 経済波及効果
効果(百万円)	総合効果	598	576	22
	間接効果	240	232	8
費用便益比	総合効果/開催経費	1.24	1.19	0.05
	間接効果/開催経費	0.50	0.48	0.02

※総合効果＝直接効果＋第1次間接効果＋第2次間接効果

※間接効果＝第1次間接効果＋第2次間接効果